

平成 28 年 2 月 19 日

岐阜信用金庫  
理事長 高橋征利

## 知的財産を活用した事業性評価融資の取組みについて

### 「企業特許レポート」を活用した岐阜信用金庫第 1 号案件 優れた技術を保有する中小企業（愛知県内）の特許を客観的に評価

岐阜信用金庫（理事長 高橋征利）は、株式会社五合（春日井市：小川宏二 社長）に対し、株式会社三菱総合研究所の「企業特許レポート」を活用した事業性評価に基づく融資を実行しました。

当金庫は平成 28 年 2 月より、中小企業が保有する「特許」を多面的に分析し、財務諸表に表れない技術力・技術資産の実態把握（事業性評価）を行うことを目的として、成長分野に取組む中小企業向け既存融資ファンド「中小企業育成ファンドⅡ」の取扱い時において同レポートの活用を開始しており、本件はその第 1 号案件となります。

株式会社五合は、環境に優しい無機塗料や安全で簡単に効率よく操作できるコントローラ技術に関する権利有効特許を保有しており、当金庫は、当社事業の優位性や将来性などを見極め、融資の判断材料の一つとしました。

岐阜信用金庫は、お取引先企業の「知的財産の活用」を含めたコンサルティング機能を一層発揮することで、新たな資金需要の掘り起しに取組み、地域経済の発展に貢献していきます。

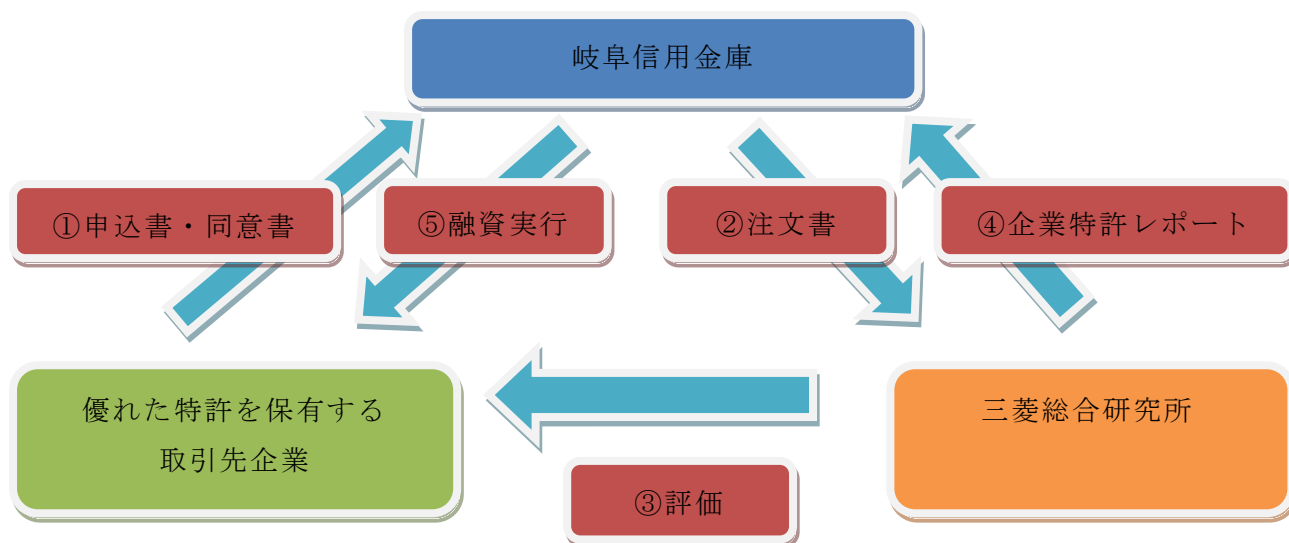
#### 取組案件の概要

会社名	株式会社 五合
代表者	小川宏二
所在地	愛知県春日井市大手町 4-8-10
事業内容	無機塗料製造販売、電機機器設計開発
主要製品	100%無機塗料「ゼロ・クリア」、天井クレーンコントローラ安全システム「zen」
資本金	25 百万円
設立	平成 15 年 5 月
従業員数	10 名
融資形態	成長分野に取組む中小企業向け既存融資ファンド「中小企業育成ファンドⅡ」
企業概要	汚れや傷がつきにくい無機塗料「ゼロ・クリア」をコーティングしたステンレス製厨房器具等を製造販売する他、ボタンの誤操作をなくし、安全性を高める天井クレーンのコントロールシステム「zen」を開発しています。 これらに関連した特許を保有し、独創的なアイデアを原点に新製品の開発に挑戦しています。

### 「企業特許レポート」とは

お取引先企業が保有する特許を三菱総合研究所が特許庁に登録されている公開情報等をもとに作成するレポートです。特許の内容や同様の特許を有する競合企業、特許の経済価値等を反映した内容です。

### 「企業特許レポート」を活用した融資の流れ



- ①岐阜信用金庫は、融資の審査にあたり、特許を融資の判断材料とするため、優れた特許を保有する取引先企業（以下、対象企業と記載）より、「申込書・同意書」をいただきます。
- ②岐阜信用金庫は、三菱総合研究所に対し、「企業特許レポート」の作成を依頼します。
- ③三菱総合研究所は、特許庁に登録されている対象企業の公開情報等をもとに特許の内容や同様の特許を有する競合企業、特許の経済価値等を評価します。
- ④三菱総合研究所は、対象企業を評価した「企業特許レポート」を岐阜信用金庫に送付します。
- ⑤岐阜信用金庫は、「企業特許レポート」をもとに対象企業の持つ技術の優位性や将来性を把握して融資審査に活用し、融資実行します。

以上

<参考資料>

「中小企業育成ファンドⅡ」商品概要

項目	内容																						
融資対象者	<p>・法人・個人事業主で成長分野 21 分野に取り組む企業</p> <p>≪成長分野（21 分野）≫</p> <table border="1" data-bbox="328 521 1406 1055"> <tr> <td>①研究開発</td> <td>⑫観光・地域活性化事業</td> </tr> <tr> <td>②起業</td> <td>⑬地域再生・都市再生事業</td> </tr> <tr> <td>③事業再編</td> <td>⑭農林水産業、農商工連携事業</td> </tr> <tr> <td>④海外進出における投資・事業展開</td> <td>⑮住宅ストック化支援事業</td> </tr> <tr> <td>⑤産学官連携</td> <td>⑯防災対策事業</td> </tr> <tr> <td>⑥社会インフラ整備・高度化</td> <td>⑰雇用支援・人材育成事業</td> </tr> <tr> <td>⑦環境・エネルギー事業</td> <td>⑱保育・育児事業</td> </tr> <tr> <td>⑧資源確保・開発事業</td> <td>⑲航空・宇宙関連事業</td> </tr> <tr> <td>⑨医療・介護健康関連事業</td> <td>⑳技術・科学振興事業 ※</td> </tr> <tr> <td>⑩高齢者向け事業</td> <td>㉑再生可能エネルギー事業</td> </tr> <tr> <td>⑪情報通信事業</td> <td></td> </tr> </table> <p>※具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ものづくり」に必要な資金</li> <li>・商品・技術の標準化に関する資金</li> <li>・中小企業の知財の活用資金 ⇒ <u>三菱総合研究所の「企業特許レポート」を活用</u></li> </ul>	①研究開発	⑫観光・地域活性化事業	②起業	⑬地域再生・都市再生事業	③事業再編	⑭農林水産業、農商工連携事業	④海外進出における投資・事業展開	⑮住宅ストック化支援事業	⑤産学官連携	⑯防災対策事業	⑥社会インフラ整備・高度化	⑰雇用支援・人材育成事業	⑦環境・エネルギー事業	⑱保育・育児事業	⑧資源確保・開発事業	⑲航空・宇宙関連事業	⑨医療・介護健康関連事業	⑳技術・科学振興事業 ※	⑩高齢者向け事業	㉑再生可能エネルギー事業	⑪情報通信事業	
①研究開発	⑫観光・地域活性化事業																						
②起業	⑬地域再生・都市再生事業																						
③事業再編	⑭農林水産業、農商工連携事業																						
④海外進出における投資・事業展開	⑮住宅ストック化支援事業																						
⑤産学官連携	⑯防災対策事業																						
⑥社会インフラ整備・高度化	⑰雇用支援・人材育成事業																						
⑦環境・エネルギー事業	⑱保育・育児事業																						
⑧資源確保・開発事業	⑲航空・宇宙関連事業																						
⑨医療・介護健康関連事業	⑳技術・科学振興事業 ※																						
⑩高齢者向け事業	㉑再生可能エネルギー事業																						
⑪情報通信事業																							
資金使途	運転資金および設備資金																						
融資金額	10 百万円以上																						
融資種別	証書貸付																						
融資期間	運転資金： 5 年以内（但し、保証協会は 10 年以内） 設備資金： 25 年以内																						
融資金利	当金庫所定の金利（変動金利型または固定金利選択型の 2 種類）																						
担保	無担・有担（保証協会）扱い可																						
保証人	必要に応じ保証人を徴求する場合は、原則法人代表者のみ。																						

平成 28年 6月 24日  
岐阜信用金庫  
理事長 住田裕綱

## 知財ビジネスシンポジウム in 岐阜 開催のご報告について

岐阜信用金庫（理事長 住田 裕綱）は、中部経済産業局など関係機関と共催し、岐阜市において、6月2日（木）に「知財ビジネスシンポジウム in 岐阜～知財戦略でグローバル市場に飛躍する～」を開催しました。

岐阜県には自動車産業や航空機産業など製造業が集積し、優れた技術を持つ企業が多く、知的財産の活用に注目が集まっています。

シンポジウムでは、「下町ロケット」に登場する知的財産専門の弁護士のモデルとして知られる弁護士・弁理士の鮫島正洋氏による講演の他、特許取得に積極的に取り組む中小企業と、特許評価融資を推進している岐阜信用金庫が「知財」について熱い議論を繰り広げました。

### シンポジウムの内容

主 催／中部経済産業局

共 催／特許庁、岐阜県、岐阜市、岐阜新聞・ぎふチャン、岐阜信用金庫、

一般社団法人岐阜県発明協会、公益財団法人岐阜県産業経済振興センター、岐阜商工会議所

協 力／一般社団法人岐阜県工業会、地域プラットフォーム「がんばる企業応援ネットワークぎふ」

会 場／ みんなの森 ギフメディアコスモスみんなのホール（岐阜県岐阜市司町 40-5）

聴講者数／ 204名

### 第1部＜基調講演＞ 13:30～15:00 「知的財産経営の導入・定着に向けた実務」

講師 鮫島 正洋 氏（内田・鮫島法律事務所 弁護士・弁理士）



第2部<パネルディスカッション>15:10~16:10 「岐阜県内における知財活用の現状」



モデレーター 鮫島 正洋 氏  
(内田・鮫島法律事務所 弁護士・弁理士)



パネリスト 大山 栄成 氏  
(中部経済産業局 地域経済部 産業技術課 特許室長)



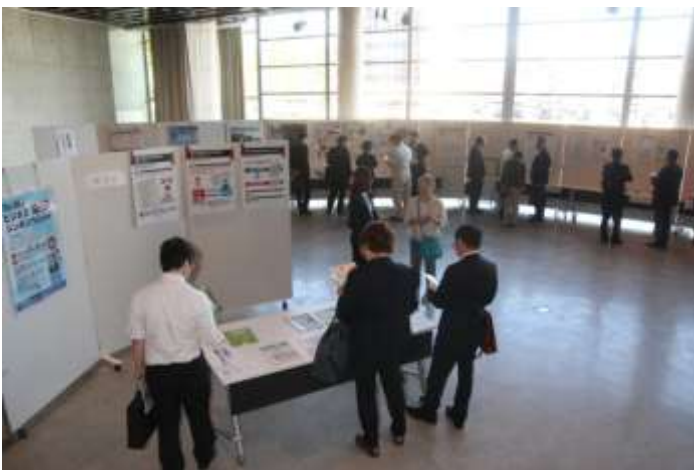


パネリスト 若山 光將 氏  
(岐阜信用金庫 成長戦略部 部長)



パネリスト 棚橋 一成 氏  
(株式会社タナック代表取締役)

**特許・発明作品展示 6月2日(木)～3日(金) ぎふメディアコスモスオープンギャラリー**



以 上

【お問い合わせ先】 成長戦略部 成長戦略サポートデスク 川瀬・鈴木・水谷 TEL (058) 266-2328

平成 28 年 11 月 2 日

岐阜信用金庫  
理事長 住田裕綱

「知財ビジネス評価書」を活用した事業性評価融資の取組みについて

「知財ビジネス評価書」に基づいた「事業性評価」  
による融資を実行した岐阜県で初めての事例

岐阜信用金庫（理事長 住田裕綱）は、岐阜プラスチック工業株式会社（岐阜市：大松利幸 社長）に対し、「知財ビジネス評価書（平成 28 年度知財金融促進事業 伴走型支援）」に基づいた「事業性評価」による融資を実行しました。なお、同取組みは、岐阜県において初めての融資事例です。

岐阜プラスチック工業株式会社は、物流産業資材、工業部品、医療関連品、TECCELL（テクセル／世界初の熱可塑性樹脂による連続成形技術を使用したハニカムコア材）の製造販売におけるトップメーカーとして業界をリードしており、当金庫は「知財ビジネス評価書」により当社事業の優位性や将来性などを見極め、融資判断材料の一つにしました。

当金庫は、お取引先企業の知的財産の活用を含めたコンサルティング機能を一層発揮することで、「事業性評価」に基づく新たな資金需要の掘り起しに取組み、地域経済の発展に貢献していきます。

取組み企業の概要

企業名	岐阜プラスチック工業株式会社
事業内容	プラスチック製品製造
所在地	岐阜市神田町 9 丁目 27 番地
資本金	2 億 1100 万円
設立	昭和 28 年 4 月
売上高	272 億円（連結 835 億円）
従業員数	717 人（連結 2,242 人）



出所：岐阜プラスチック工業株式会社

企業概要

折り畳みプラスチックコンテナ、プラスチックパレットにおける業界大手であり、近年は、食品包装容器の売上がグループ全体で 5 割を占めます。

2006 年には、ダンボールと同等の薄さで再生可能性、透明性を持つ包装資材「リソボックス」を商品化し、2009 年には、熱可塑性樹脂のハニカムコア材 TECCELL の量産化を世界で初めて成功させています。同素材は、自動車の内装部品、建築土木資材、スポーツ資材で採用されつつあり、あらゆる産業の省エネルギーに貢献するものと期待され、これらに関する特許出願戦略、意匠権、商標権の実績を評価され、平成 27 年度知財功労賞を受賞。その他、第 6 回ものづくり日本大賞「経済産業大臣賞」、第 34 回プラスチック日用品優秀製品コンクール「経済産業大臣賞」等、多数の受賞を受けている企業です。

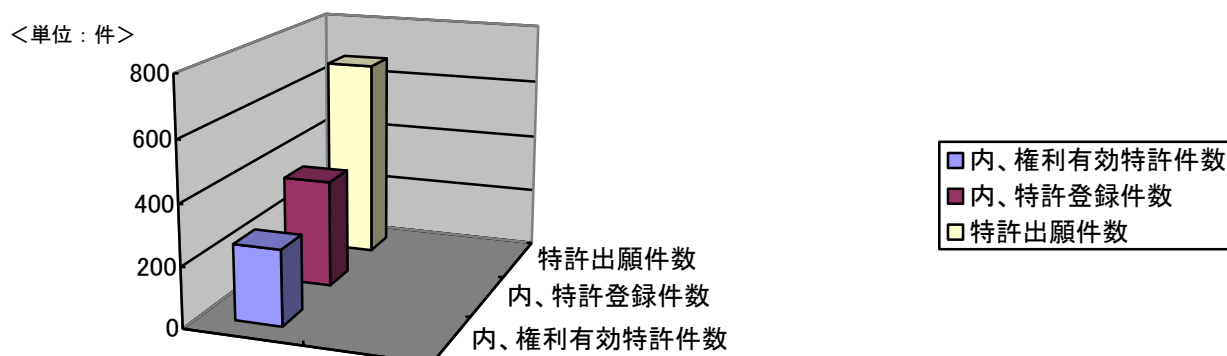
## 知財金融促進事業（知的財産評価書事業）伴走型支援とは

金融機関による「金融機関内における知財金融の普及・促進」を目的に特許庁が実施する支援事業。平成 28 年度、岐阜信用金庫は同事業の公募採択を受けて、「知財ビジネス評価書」の内容等を参考に取引先企業の本業支援に組織的に取り組んでいます。また、中部経済産業局と連携して事業性評価に基づいた融資の成功事例の積み上げを目指し、当地域における「知財金融」の普及・促進に取り組んでいます。

＜知財ビジネス評価書とは＞  
企業が有する知的財産権を主軸とし、市場優位性・競争優位性といった事業全体のきめ細かな定性評価等を盛り込んだ評価書。

## 岐阜プラスチック工業株式会社の知財戦略について

岐阜プラスチック工業株式会社 特許の出願・登録動向（1995 年以降） 出所：(株)三菱総合研究所作成「知財ビジネス評価書」



当社は、独自素材を提案できる技術力に加え、環境への配慮意識が非常に高く、従来の石油由来のプラスチックパレットに CO2 排出抑制効果のある植物由来のバイオマスプラスチックを混入したパレットなど、エコ製品やリサイクル製品を多く開発しています。当社は国内・海外に積極的に特許の出願を行っているほか、充実した先行技術調査とオリジナルの知財マップ活用により製品の開発スピードを向上する社内体制を構築しています。こうした優れた「知財」の活用は、当社の技術力と相俟って、今後の事業成長を強力に下支しています。

## 岐阜信用金庫の知財金融に対する取組み

中部地区は、自動車産業や航空機産業など製造業が集積し、優れた技術を持つ企業が多く、特に企業の特許に関する関心が高い地域です。このような背景から、当金庫は平成 27 年度より「事業性評価」の体制整備の一環として、「知財金融」の取組みに着手。平成 28 年 2 月には、財務諸表に表れない技術力・技術資産の実態把握を行うことを目的として、成長分野に取り組む企業向け既存融資ファンドにおいて、(株)三菱総合研究所の「企業特許レポート」を活用した知財評価融資（信用金庫で初めての取組み）の取組みを開始しました。さらに平成 28 年 11 月には中部経済産業局等との共催による知財金融の企画として、「知的財産ビジネス討論会 in 春日井」を開催予定であり、岐阜プラスチック工業株式会社開発部知財統括部の担当部長を交えた公開討論会も行います。

「知財金融」とは、取引先企業とのリレーションをいっそう強固にする「事業性評価」の取組みそのものです。当金庫は取引先企業とともに将来像を語るパートナーを目指します。

以上



平成 28 年 11 月 2 日

岐阜信用金庫  
理事長 住田裕綱

## 「知財ビジネス評価書」を活用した事業性評価融資の取組みについて

### 「知財ビジネス評価書」に基づいた「事業性評価」 による融資を実行した岐阜県で初めての事例

岐阜信用金庫（理事長 住田裕綱）は、株式会社タナック（岐阜市：棚橋一成 社長）に対し、「知財ビジネス評価書（平成 28 年度知財金融促進事業 伴走型支援）」に基づいた「事業性評価」による融資を実行しました。なお、同取組みは、岐阜県において初めての融資事例です。

株式会社タナックは、シリコン、エラストマー、ウレタンなどの素材に関する豊富な知識と、高度な配合・加工技術を有し、超柔軟ゲル素材のニッチトップメーカーを目指すモノづくり企業であり、当金庫は「知財ビジネス評価書」により、当社事業の優位性や将来性などを見極め、融資判断材料の一つにしました。

当金庫は、お取引先企業の知的財産の活用を含めたコンサルティング機能を一層発揮することで、「事業性評価」に基づく新たな資金需要の掘り起しに取組み、地域経済の発展に貢献していきます。

#### 取組み企業の概要

企業名	株式会社タナック
事業内容	シリコン製品製造
所在地	岐阜市元町 4 丁目 24 番地
資本金	30 百万円
設立	平成 8 年 11 月 1 日
売上高	10 億 60 百万円（28 年 7 月期）
従業員数	35 人



株式会社タナック社長 棚橋 一成 氏

#### 企業概要

シリコン、特殊ゲル製品の製造・販売を行い、当社が有する材料知識・配合技術のノウハウを生かし開発したオリジナル素材は、医療用シュミレータとして多くの引き合いがあり、当社の技術は、医療・健康・ヘルスケア・航空宇宙・ロボットなどの最先端な分野で活用され、その製品や技術は、開発パートナーである大学・研究機関および世界的な企業等から高く評価されています。

また、自社製品のブランディング手法としての商標登録や、技術・ノウハウのプロテクト手段としての特許出願にも積極的な企業であり、「知財戦略」を実際に経営で体现している企業です。

※「アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー2016 ジャパン」東海北陸地区代表企業。

※経済産業省 中部経済産業局 中部発きり企業紹介 Vol.1. 102

<http://www.chubu.meti.go.jp/koho/kigyoyo/102-kirari/index.html>

## 知財金融促進事業（知的財産評価書事業）伴走型支援とは

金融機関による「金融機関内における知財金融の普及・促進」を目的に特許庁が実施する支援事業。平成 28 年度、岐阜信用金庫は同事業の公募採択を受けて、「知財ビジネス評価書」の内容等を参考に取引先企業の本業支援に組織的に取り組んでいます。

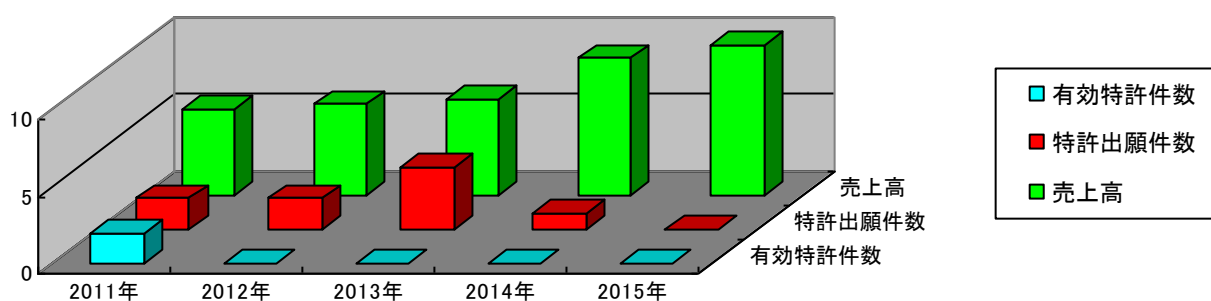
また、中部経済産業局と連携して事業性評価に基づいた融資の成功事例の積み上げを目指し、当地域における「知財金融」の普及・促進に取り組んでいます。

＜知財ビジネス評価書とは＞

企業が有する知的財産権を主軸とし、市場優位性・競争優位性といった事業全体のきめ細かな定性評価等を盛り込んだ評価書。

## 株式会社タナックの知財戦略について

株式会社タナック 売上推移と特許の出願・登録動向 出所：(株)三菱総合研究所作成「知財ビジネス評価書」



株式会社タナックは 2009 年に医療分野に進出して以来、同分野を成長ドライバーと位置付け、関連特許を多数出願している企業です。当社の特許出願件数の増加に合わせて事業活動は伸張り、岐阜市に置く本社機能・愛知県豊川市のテクニカルセンターのほか、2016 年には各務原市のテクノロジーセンターに新設した医療用製品専用工場を本格稼働。これにより 2021 年までに医療分野の売上高を 2016 年 7 月期比 4 倍の約 6 億円に伸ばす計画です。

## 岐阜信用金庫の知財金融に対する取組み

中部地区は、自動車産業や航空機産業など製造業が集積し、優れた技術を持つ企業が多く、特に企業の特許に関する関心が高い地域です。このような背景から、当金庫は平成 27 年度より「事業性評価」の体制整備の一環として、「知財金融」の取組みに着手。平成 28 年 2 月には、財務諸表に表れない技術力・技術資産の実態把握を行うことを目的として、成長分野に取り組む企業向け既存融資ファンドにおいて、(株)三菱総合研究所の「企業特許レポート」を活用した知財評価融資（信用金庫で初めての取組み）の取組みを開始しました。

さらに平成 28 年 6 月には、中部経済産業局等と共催し、株式会社タナック 棚橋社長をパネリストとして、岐阜市で「知財金融」をテーマとしたシンポジウムを開催するなど「知財金融」の組織的な取組みを継続推進しています。「知財金融」とは、取引先企業とのリレーションをいっそう強固にする「事業性評価」の取組みそのものです。当金庫は取引先企業とともに将来像を語るパートナーを目指します。

以上